



AUE News

2012年5月1日

第 39 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



目 次

- 行事予定(5月1日-15日)
- トピックス
 - ・新入生歓迎ランチコンサート
 - ・クラブ・サークルオリエンテーション
 - ・外国人留学生ガイダンス
 - ・天文台一般公開
- ・招へい教職員による第5回講演会
- ・鈴鹿高等学校生徒が本学を見学
- お知らせ・報告・投稿
 - ・陸上部が台湾遠征
 - ・体育科の学内での募金活動について
 - ・催しもの案内

行事予定(5/1-15)

- 9日(水) 代議員会(13:30～ 第五会議室)
教育研究評議会(代議員会終了後, 第五会議室)
役員会(15:00～ 学長室)
- 13日(日) 子どもまつり(9:00～15:30 第一体育館, 第一共通棟ほか)
財務委員会(15:30～ 第五会議室)
- 16日(水) 大学祭(20日まで)

トピックス

新入生歓迎ランチコンサート(4/18)

新入生歓迎のランチタイムコンサートが4月18日(水)昼休み時間に、附属図書館アイ♥スペースで開かれた。

音楽教育講座が年4回企画する恒例のコンサート。4月は新入生を歓迎



しようと、音楽教育選修・専攻の3、4年生が出演して、ピアノ演奏、声楽、クラリネット演奏など6演目を披露。会場には新入生をはじめとする学生、教職員、学外者ら60人余が訪れ、学生たちの日ごろの練習の成果に耳を傾けて昼休みのひとときを楽しんでいた。次回のランチコンサートは7月の予定。



クラブ・サークルオリエンテーション(4/18)

新入生を対象にしたクラブ・サークル選びの参考にしてもらおうという「クラブ・サークルオリエンテーション」が4月18日(水)午後、第一共通棟などで行われた。

約80のクラブ、サークルが参加。クラブ、サークルごとに割り振られた教室や廊下などで、1年生に勧誘のビラを配りながら活動内容を説明。写真や映像で活動を紹介したり、合唱曲のライブやダンス、武道の型の披露などのパフォーマンス、





弓道やアーチェリー、乗馬などの体験と、各クラブ、サークルがさまざまにアプローチして新入部員獲得に奮闘、会場は熱気にあふれた。

1年生は「高校までと違って、大学では多くのクラブやサークルがあって、どこに入部しようか迷います。説明を聞いたり、練習の様子を見て決めたい」

「ほとんど決めています、他のクラブの様子も知ることができて、興味を持ったものもあります」「4年間の部活でたくさんの先輩や友だちづくりもしたい。自分に合ったクラブを選ぶ参考にしたい」などと、会場を回っていた。



外国人留学生ガイダンス(4/18)

本学の国際交流センターが、外国人留学生を対象にした「平成23年度前期外国人留学生ガイダンス」を4月18日(水)に実施、新入生19人を含む外国人留学生約60人が参加した。



このガイダンスは毎年2回、4月と10月に実施しているもので、刈谷警察署による講話や在留資格の手続き指導、本学での日本語補講の受講案内、留学生寮(国際交流会館)の居住規則説明などが主な内容。

最初にあいさつをした宮川秀俊国際交流センター長は、「他人に迷惑を掛けないように、道徳やマナーを守ることを常に心掛け、しっかりと勉学に励み、有意義な留学生生活を過ごしてください」と激励。続いて行われた刈谷署の講話では、「事件・事故の被害者及び加害者にならないために」として交通ルールと防犯を中心とした指導が行われ、地震をはじめとする自然災害対策についても説明された。

約3時間に及ぶガイダンスだったが、留学生たちはメモをとりながら熱心に説明に耳を傾け、環境の異なる日本での留学生活について理解を深めていた。

(教育創造開発機構運営課国際交流センター 宮内春菜)

天文台一般公開(4/21)

本学の天文台の一般公開が4月21日(土)午後1時30分から、自然科学棟5階で開催された。

71回目の今回は、「子どものための講座と観望会」。5月21日(月)の金環日食を1カ月後に控え、観察用の「日食めがね」の工作教室もあり、親子連れなど159人が参加して、盛況だった。

メインの日食めがねの工作は、各自が一つずつ作成。紙にカッターナイフで2カ所穴を開け、そこにめがね部分を両面テープで貼り付け、二つ折りにしてボン드로貼り付け



るという簡単な工程とあって、子どもたちも学生の指導を受けながらめがねを完成させた。「ミニ講座」では、澤武文教授(理科教育)が、日食の原理を解説した後、5月21日の日食の見え方、安全に観察するための方法を説明した。この日は、あいにくの曇り空とあって、天体観測ができなかったが、ほかにも「ピンホール」の工作、宇宙空間のシミュレーション映像を楽しむ「3D宇

宙の旅」の上映などが行われた。

招へい教職員による第 5 回講演会(4/25)

昨年度から本学が始めた「海外協定校からの教職員招へいプログラム」により来学した教職員を講師に招いた講演会が 4 月 25 日(水)、大学会館中集会室で開催された。今回の講師は、南京師範大学の池建新准教授と同大学国際交流処の王秋文科長。池准教授は稲葉みどり教授を受入教員として今年 3 月から約 3 カ月間、王科長は田口尚幸教授をアドバイザーとして 1 月から約 4 カ月間の予定で滞在し、研究や研修に従事している。



講演に先立ち、集まった教職員や留学生を含む学生の前に松田正久学長があいさつ。昨年協定書の更新のため南京師範大学を訪問した際のエピソードを交えながら、今回の来学を歓迎するとともに、両大学の今後の交流の発展へ向け意気込みを語った。

最初に講演を行った池准教授の講演内容は、南京師範大学外国語学部日本語学科における日本語教育事情を中心としたもの。110 年の歴史を有し中国の国家教育プロジェクトにも指定されている同大学での日本語教育について、その沿革や教育体制、池准教授自ら作成した教材を用いた教育内容等、詳細に説明した。



続く王科長は、自身の研究テーマである有智子内親王の人物概要と同大学の国際交流に焦点を当てた内容。嵯峨天皇の皇女であり、日本史上数少ない女性漢詩人の一人である有智子内親王について、作品の解説を随所に織り込みながら紹介した。また、国際交流処の科長として、南京師範大学の国際交流、特に本学を含む日本の協定校との活発な交流活動について数的データを用いながら説明を行った。



参加者は、流暢な日本語による両氏の講演に熱心に耳を傾け、終了後には講師と談笑する場面も見られた。このプログラムは本年度も継続して実施し、招へい者による講演会も随時開催の予定。
(教育創造開発機構運営課国際交流センター 宮内春菜)

鈴鹿高等学校生徒が本学を見学(4/27)



三重県の私立鈴鹿高等学校の 2 年生 166 人と教員 10 人が、4 月 27 日(金)午前、本学を見学を訪れた。

高校生たちは、観光バス 5 台で到着後、第一会議室で大学職員から大学の概要、入試、カリキュラムについて説明を受けた。その後、係の案内で 5 グループに分かれて、講堂、自然科学棟、ガラス工房、体育館、附属図書館などの施設を見学。

第一共通棟では、廊下の扉の小窓から授業の様子に興味深そうに眺めていた。

2 時間余りの滞在で、「7 月末のオープンキャンパスにまた来ます」という元気な声も上がり、この日の見学を無事に終えて、バスに乗り込んで本学を後にした。



お知らせ・報告・投稿

陸上部が台湾遠征(報告)

3月21日(水)～26日(月)、東海地区の代表選手48人による台湾遠征があり、愛知教育大学からは愛敬世菜(中等・保健体育専攻4年)、佐脇匠(同3年)、木引悠起子(同2年)の3人が参加。23、24日には台北市内の台北陸上競技場(中国語で臺北田徑場)で行われた「全国学生陸上オープン(全国大專校院田徑公開賽)」に出場しました。



本学の3人は初の海外遠征・国際試合でしたので初めてのことばかりでした。遠征中に感じたことは、台湾はアジア・親日国ということもあって台北市内は日本語がよく見られ、あまり日本と変わらない印象でしたが、次第に違いをいろいろ実感するようになりました。最初に感じた違いはやはり言語でした。初めのうちは日本語だけでも生活するのに支障はなかったのですが、試合をするにあたって、スタートの言葉からして日本語があまり通じず戸惑いました。英語もいざとなると言いたい言葉が出てきませんでした。さらには中国語

で話しかけられることもあり、全く理解できずコミュニケーションをとることに苦労しましたが、せっかく来たのだからと積極的に英語や身振り手振りを使って台湾の選手とコミュニケーションに努めました。日常会話程度の会話しかできませんでしたが、とてもわくわくしました。異文化の人と意思疎通することの難しさを感じると同時に、楽しさも発見できました。さらには通貨や物価や食・宗教文化などのさまざまな違いを知ること到大変魅力を感じました。

今回の遠征では日本に居ては絶対に経験できないことを陸上競技を通して経験することができました。大変貴重な時間であったと思います。(中等・保健体育専攻 4年 愛敬世菜)

体育科の学内での募金活動について(報告)

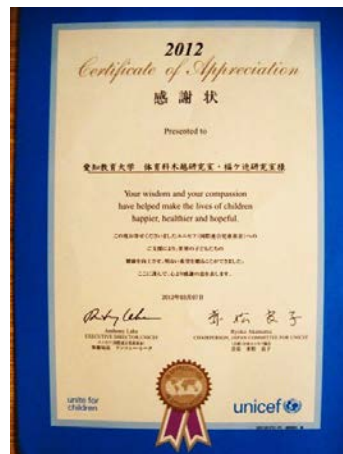
2011年春より2012年2月下旬までの約1年間、愛知教育大学体育科木越清信研究室と福ヶ迫善彦研究室の24年度4年生の12人で、昨年起こった東日本大震災で被災し十分に教育を受けられなくなったり、生活が不自由になってしまった子どもたちのために募金を送ろうと活動していました。ただ募金を集めるのではなく何か形としてしっかりと残すことによって皆でより復興への意識を高めていこうということで、自分たちのオリジナルのラバーバンドを作成しました。1個500円でラバーバンドを購入してもらい、代金のうち原価の200円を除いた300円を募金として全額「日本ユニセフ



東日本大震災緊急募金」に寄付するという活動でした。

体育科の学生を中心に、学内の知人を通してするなどしてさまざまな方に協力していただきました。そして皆様からご協力いただいた結果、2月下旬に502本分251,000円の売上げからバンド代100,050円(送料、手数料込み)を引いた150,950円の募金を寄付することができました。

3月7日にユニセフの赤松良子会長から感謝状と領収書をいただきました。そこでは被災地での物資の支援や子どもたちの心のケアに関する活動、最近ではインフルエンザ予防接種ワクチン費用を助成するなどして募金をしようしているそうです。私たちの活動も子どもたちが少しずつ幸せな生活を取り戻していく助けになればと思うとこの活動をやってよかったなと感じました。募金に協力いただいた先生や職員の方々、学生の皆さんには本当に感謝しています。ご協力ありがとうございました。(中等・保健体育専攻 4年 愛敬世菜)



催しもの案内

◆いきもの写真展

5月9日（水）～22日（火）

附属図書館2階 アイ♥スペース

主催：写真サークル。メンバーが撮影した動物の写真13点を展示。

問い合わせ：附属図書館 TEL 0566・26・2681

◆第43回子どもまつり

5月13日（日）9:00～15:30 入場無料

第一共通棟、第一・第二体育館など

子どもたちとさまざまな遊びやゲーム、工作を一緒に楽しみ、ふれあうイベント。

「迷路」「お化け屋敷」「ミニゲーム」「マジックショー」「人形劇」「シャボン玉」「恐竜さがし」など手作りの企画がいっぱい。

詳細は、子どもまつりホームページを参照

http://www.aichi-edu.ac.jp/gakusei/kodomo_fes

◆第43回大学祭

5月16日（水）～20日（日） 入場無料

テーマは「環～みんなでひとつに～」

16日～18日：スポーツ祭

場所：第一・第二体育館、附属屋、野球場など（雨天の場合は屋外種目中止）

バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ソフトボール、卓球など

16日～20日：ミニゲーム、借り物競走、献血、ステージなど

場所：構内一帯

ほかに、夜祭（19日）お笑いステージ（20日）大学紹介、出店、フリーマーケットなど（19、20日）

詳細は、大学祭ホームページを参照

<http://www.aue-festival.aichi-edu.ac.jp/>

◆愛知教育大学天文台第72回一般公開

5月19日（土）13:30～20:30 入場無料、申し込み不要

自然科学棟5階 地学538教室 雨天時も観望会以外は開催

13:30～16:00 天文工作教室「日食メガネを作ろう!」「3D宇宙の旅」上映会

14:00～15:30 昼間の観望会「金星と太陽の観望会」

18:00～19:00 天文ミニ講座「2日後に迫った金環日食」講師：澤武文教授

19:00～20:30 夜の観望会「土星を見よう!」

問い合わせ：理科教育講座天文学研究室 TEL 0566・26・2624

詳細は、天文台ホームページを参照

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

編集後記

新緑が美しい季節がやってきました。自然豊かな本学キャンパスは、この時期、桜に続いてピンクや赤のツツジが咲き誇り、緑の木々と鮮やかなコントラストを見せてくれます。今年はそれに加えて、春先に職員が手作りの花壇に植えたサクラソウやパンジーが花を咲かせて、キャンパスは文字通り花盛り。何かと忙しい毎日ですが、そんな風景を目にして、しばしリフレッシュする今日このごろです。（K）

投稿のお願い

学内外の出来事（教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など）に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者：総務担当理事 折出 健二